

問1. 神戸

私からは、女性の起業家育成・促進についてお伺いしたいと思います。世界経済フォーラムが2024年6月12日に公表した「世界男女格差報告書（グローバル・ジェンダーギャップ・レポート）」では、日本のジェンダーギャップ指数は146カ国中118位と位置付けられ、前年から順位を上げたもののG7の中では最下位となり、男女格差が埋まっていない現状が改めて示されています。

この報告書では、男女格差を、経済、教育、健康、政治の4分野で評価しており、健康は58位、教育は72位と高いのですが、政治は113位、経済分野は特に120位という低い結果でありました。指導的な職務では6人のうち5人を男性が占めており、政治の分野では我が県議会も同様ですが、女性議員が少ないという現実です。全体のトップは昨年と同じアイスランドで、フィンランド、ノルウェーが続いて北欧諸国が3位までを占めています。

経済分野における男女格差の改善による効果は、ご承知のことと思いますが、経済活動における女性の活躍、意思決定への参画が進むことで、例えば、新製品や新サービスの開発などに、多様な経験や価値観が反映され、新しい市場が開拓されることが期待されます。また、多様性が向上することによって、イノベーションが起こりやすくなる風土が生まれるとされています。男性と女性はそれぞれ異なる視点やアイデアを持ち、女性の起業を促進することは地域社会における多様性を高め、地域経済の活性化と持続的な発展の鍵となるものと考えます。

そこでお尋ねします。愛知県では、今秋に STAITON Ai 開業に代表されるように、起業の促進と起業家の支援に力を入れていると理解していますが、特に女性の起業促進のために、これまでどのような取り組みを行ってきたのかお聞かせください。

A1. 【産業政策課担当課長（総務・企画）】

本県では、より多くの女性の愛知への定着と、女性の活躍を通じた産業の振興を図る一環として「あいち・ウーマノミクス推進事業」による女性の起業支援に取り組んでおります。2016年度からの3年間は、主に女性の起業促進に向けた環境整備をしてきました。

具体的には、女性の起業をサポートする人材の育成に向けた研修や、女性による新たなビジネスモデルの創出を促進するためのセミナーを開催したほか、女性

を対象としたソーシャルビジネスプランコンテストを開催し優秀なプランに対して、その具体的な事業化支援を実施しました。

2019年度からの3年間は、起業を考えている段階又は起業して間もない段階の女性を対象に、経営者としての成長と事業拡大を支援しました。具体的には、メンターと呼ばれる専門家による伴走支援、ビジネスプランを磨き上げるブラッシュ・アップセミナー、先輩女性起業家に学ぶセミナーなどを実施しました。

2022年度からは、既に起業し本格的な事業拡大を目指す女性起業家にも対象を広げるなど、参加者からの声も参考にして、事業をリニューアルしながら、継続して女性の起業を支援しています。

問2. 神戸

女性の能力を十分に発揮できる環境の整備を充実させるためには、様々な問題を解決することが必要です。起業した女性が、事業の継続や拡大を目指す際には、出産、育児を始めとした女性特有のライフステージの課題や、男性中心の産業界での資金調達や販路拡大を行っていくといったハードルがあります。

あるシンクタンクの分析によると、女性と男性が起業家として同等に経済活動に参加することで、GDPは世界全体で3~6%上昇し、世界経済は2兆5000億ドルから5兆ドル程度の成長が見込まれるとされています。

この地域が、女性が起業をしやすく、事業を行いやすい地域となるためには、行政、支援機関、金融機関などの様々な関係機関が連携してサポートしていく体制や、ロールモデル、女性の起業を支えるコミュニティの育成が重要です。

そこでお尋ねします。このように、起業した女性の事業継続や事業拡大に関する課題の解決を図るには、きめ細やかな支援が不可欠です。

そこで、今年度はどのような支援を展開していくのかお聞かせください。

A2. 【産業政策課担当課長（総務・企画）】

今年度は、起業フェーズに応じた2つのプログラムを実施するほか、女性起業家のネットワーク形成やコミュニティ育成のためのイベントを開催していきます。

プログラムの1つは、起業を目指している女性や起業して間もない女性を対象にした「女性起業家シードプログラム」であります。このプログラムでは、県内の女性起業家の裾野拡大を図るため、起業に対するモチベーションを高めたり、起業にまつわる基礎知識を学ぶことができたりするほか、県内の女性起業家の裾野拡大を図るセミナーやワークショップを5回開催します。

もう1つのプログラムは、既に起業し本格的な事業拡大を目指す女性起業家を

対象にした「女性起業家スケールアップ支援プログラム」です。このプログラムでは、メンターによる個別面談、個別相談等を通じた切れ目ない伴走支援を行うほか、事業拡大に必要な知識やノウハウを学べる勉強会を開催いたします。今年度は、応募者から10名程度を選考して支援する予定であります。

さらには、女性起業家同士が交流する「あいち女性起業家交流会」を開催するほか、今年度事業の集大成として女性起業家、起業に関心のある女性、起業を支援する機関等が一堂に会する「あいち女性起業家フォーラム」を開催し、女性起業家のネットワーク形成やコミュニティ育成を図っていきます。

こうした支援を通じて、女性の起業促進に向けた環境整備を進め、本県に根差した女性起業家の育成を後押ししていきたいと考えています。

<要望>神戸

最後に要望させていただきます。

経済分野で活躍する女性リーダーの増加が、マーケットやイノベーションの創出の観点からも望ましいと考えます。しかし、2023年の帝国データバンクの調査では、愛知県における女性社長比率は6.5%であり、全国順位は4年連続46位との結果となり、愛知県と全国のギャップ拡大は続いています。

こうしたギャップを解消するためには、女性の起業家を増やすことも重要な要素であると思います。

ただ増やすといっても、せっかくの良いプランや思いを持っていても、どのように進めたらよいか最初の一步を踏み出せない女性が多いと思います。実は地元春日井の商工会議所では、今年の2月に「女性起業ビジネスコンテスト」を開催し、優勝者に賞金を出すということで、女性の起業家の応援プロジェクトを行っています。16名の応募があり、最終審査に残った5名でプレゼンが行われ、優勝者が決まりました。「身体のメンテナンスを当たり前！春日井市から始める健康の輪」というカイロプラクティック事業でした。その際、愛知県のサポートがあったか確認したところ、ビジネスコンテストのPRをしていただいたそうです。ただ、春日井市からのアクション不足だったかもしれませんが、県民文化局男女共同参画を通してだったそうで、今後は経済産業部も積極的に関わっていただくようお願いしたいと思います。

今年度、計画されている様々な事業により、女性の起業家や女性のリーダーが増え、地域経済がさらに活発化されることを要望して、質問を終わります。